

2012～2013年度 青少年交換派遣学生 大塚美月さん アメリカへ向けて出発



7/31 米子鬼太郎空港にて



8/1 10:45 成田空港より出発

アーチェリー専門スポーツコメンテーター
尾沢三夫会員 のロンドン報告



「ランキングラウンド」で個人ランキングが決まる事。
世界で女子団体は12ヶ国しかない事。
日本はシード国でなかったこと。
3位決定戦最後の競技者ロシアの実力者が8点しか出せなかった瞬間日本の「銅メダル」が決まった。奇跡的とも思えたこと...等の報告があった。

< プログラム >

「ロータリーの友」の紹介
雑誌委員会 北沢 薫リーダー

- ① 今月は会員増強月間です。RI会長のメッセージ「ロータリアンの皆さん、ロータリーって何ですか？」私はロータリアンにこの質問をすると、いつも複雑な曖昧な答が返ってきます。実は私自身もこの問いについていつも考えてしまいます。」...(横P1)
- ② ポリオワクチンの投与のために...(横P17～P21)
- ③ 会員増強のための座談会...(横P5～P31)
- ④ 「ロータリーの希望の風奨学金」...東日本大震災で両親もしくは片親を亡くした遺児達、大学生・短大生・専門学生に 金を寄付する奨学金制度を10億円という規模で立ち上げ軌道に乗せることが出来た。一人当たり50,000円を給付。...(横P22～P27)



<今年度理事方針>

長棟信泰 副幹事

今年度は理事会と例会に毎回出席をすることを目標にします。入会してあっという間に13年ですが、あまりロータリーの事を理解していないと痛感しています。真面目なのか不真面目なのかよく分からんと言われますが、自分にとっては褒め言葉だと思っています。仕事柄韓国には詳しいです。また、夜にも酒にも強いので場を盛り上げる役として期待されているようですが、意外に数字にも強いので任せてください。自分の父親のようなお歳の方もおられますが、最近になって100歳までは皆10歳代だと感じています。同世代でこのような会でお互いのことを知り合って、仲間意識を強く持っていくと良いのではないかと感じています...



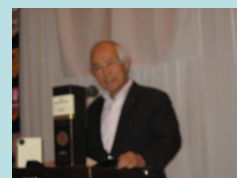
田淵亮達 無任所理事

私は無任所ということで特に申し上げることは御座いませんが、理事会というのは定款によりますと包括的な支配権のようなものがあるように書いてありまして、その一端に属するという事は大変な身だなと思っております。最終的な議決権も全部ここにありますので、今日の総会でも理事会の議を経て議案が諮られるわけでありませうから、そういう意味で及ばずながら努力をしたいと思っております。



新納哲雄 無任所理事

この度小谷会長年度の無任所理事を仰せつかった新納です。よろしくお願いいたします。新年度の方針としてそれぞれ理事・リーダーの方々から立派な事業計画が提出されています。この事業計画を行う上で、二つの事が考えられます。これから先変えていかなくてはならない「チェンジすべき事」また従来どおり「事業を継続していく事」。この二つをこれからしっかり使い分けて、事業がスムーズに行われるように協力していきたいと思っております。そのことが無任所理事の私にとって大きな仕事ではないかと思っております。新しく作ったり企画したりすることは大変ですが、逆に壊したり事業を止めたりすることは簡単です。理事やリーダーの皆様方の事業計画推進に協力していきたいと思っております。無任所理事は担当すべき役割がありませんのでどんなことをすべきか自分で決めなくてはならないこともあるでしょうし、また、事業計画推進中に何か新しいことが起こるかもしれませんが、そのときは小谷会長をはじめ理事リーダーの熱い思いを最優先し、大切にしていきたい。熱い思いはどんな形でも伝える事が出来るのだなと教えられました。(広島の子供高生原爆体験者からの聞き取り調査の例...)少しでも小谷会長年度の熱い思いの後押しが出来れば私の仕事になるのではないかと勝手に思っております。



伊藤慎哉 会場監督

今年度小谷会長年度で会場監督を務めることになりました伊藤慎哉と申します。簡単に自己紹介をいたします。平成10年2月に入会しました。14年目になります。私が米子東ロータリークラブに入会したときには会員総数106名でしたが、私が入会した後会員数がどんどん減ってきていて、疫病神のような立場に居ります。14年目に会場監督という責任ある立場にならせていただきました。小谷会長のスローガン、チャレンジ100毎週帰ろう例会場へ、毎週帰ろうロータリー家族。ロータリーを家族に例えられていらっしゃる。ロータリーを家族とするならば小谷会長がお父さん、幹事永島さんがお母さん、理事の方々がお兄さん、無任所理事の田淵さん新納さんが相談役の叔父さんといったところで、会場監督というのは長老の立場で会場を取り締まる役です。近年は永島会場監督だったり植田会場監督といった割と中堅の方が勤められていますけども、以前私が認識している限り上森さんだったり種田さんだったりといった会長を何年も前に卒業して、会場全体に睨みを利かせる方が会場監督の席に座るといったイメージを持っております。もうそろそろそういう席に座ってもいいんだよというふうに言われたらと思って一番端の席に座っています。ここで話すのも緊張しませんが、あちらのマイクで話すのもそんなに緊張はしませんが、正面で公式的な発言をする段になると途端に緊張してしまっていて、会長の点鐘を忘れて、国歌斉唱の後直ぐに着席をお願いしたりして失敗ばかりをしておりますが、皆様にご協力をお願いしながら無事に進めたいと思っております。この後総会もごさいますのでこの辺りで終わらせていただきます。

